

HATS

HONDA AUTOMOTIVE TECHNICAL SCHOOL

学校法人ホンダ学園
ホンダ関西自動車整備専門学校

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
 TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
 校長 六角屋 雷太

ホームページ
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

iモード、J-SKY、EZweb
<http://ajtw.jp>

世界NO.1の品質を目指して

ホンダ学園では年に2回本田技研工業(株)のトップを招いて講話を頂いております。

今年9月13日に本田技研工業(株)専務取締役であり、(学)ホンダ学園の理事長でもある白石基厚さんにHondaの「品質」に対する考え方についてお話を頂きました。



学校法人ホンダ学園 理事長
 本田技研工業 専務取締役 白石 基厚

今日は「品質」についてお話したいと思います。「品質」というのはホンダも製造業で、ホンダに限らずすべての企業の原点にあるものだと思います。ホンダの社是にも「わたしたちは地球の視野に立ち、世界中の顧客の満足のために、質の高い商品を適正な価格で供給することに全力を尽くす」とあるように、我々も品質

を非常に重要視し、展開しております。

まず我々のクルマを作るラインがどうなっているかという、鈴鹿製作所を例に出すと二日に二つのラインで約1000台強のクルマを造っています。車はいろいろな「人」に頼りながら造っており、一台の車にどれくらいの人がかかわっているかを考えると方では足りないと思います。人間がミスをする確率は「千三つ(3/1000)」と言われており、この間違いをゼロにすることはやはり出来ないと思います。逆にいうと人間は間違いを犯すから新しい価値も創造でき、間違いより非常に大きな知恵というものをアウトプットしていくのだと思います。日に1000台も造っているわけですから、一台くらい欠陥があっても1/1000かと思う訳ですが、お客様視点に立つとお客様にとってはそれがすべてで100%になるわけですから、その間違いをダブルチェックや品質検査機器ですべての工程において念入りに検査し、間違いの起こる確率を減らすということを徹底して行っております。「品質」というのは、モノを造る現場、開発する現場からサービスする現場まですべての領域の総合力だと思っています。学生の多くは、販売・サービスの最前線

で最もお客様との接点が多いディーラーで働くのだと思います。皆さんはプロになるわけですから、修理作業一つとっても、作業標準に従って皆さんが誠実に仕事に取り組むことが大切です。そしてお客様の顔を浮かべ、気持ち悪い誠心誠意作業をする。その中に少しでも投げやりなことがあつてはいけません。100%良い作業が出来ているかということをお客様の視線にたつて毎日仕事をして頂けると素晴らしい作業が出来ると思っています。またそれはお客様が期待されていることであり、皆さんが仕事の中に喜びを感じるところでもあると思います。仕組みなどいろいろあつても、原点はそこにいる人のモチベーションという誠心誠意やまごころなど、それが無くては何も出来ないのです。

我々は社是にもあるようにHIGH EIGHT QUALITYでありたい。すなわち世界でやりたいと思っています。意思が必ず道はあると思えます。ホンダも総力をあげて意思を持ち、世界NO.1の品質を作り上げていきたいと思います。皆さんも夢を持ち実現に向けてチャレンジし、「意思があれば必ず道は開ける」とこの言葉を大切にこれから歩んでいく欲しいと思います。(要約)

企業実習

夢膨らむプロの仕事体験

ホンダ学園関西校は、企業様のご協力を得て、2年生が7月15日～27日の13日間、1級整備士資格取得課程の経営研究科生は7月6日～27日において企業実習を実施致しました。

将来自分が社会人となった時の職場の実務を身をもって体験し、職場を知り、時間の厳しさ、生産性の追求、お客様の満足を通じた自身の不足領域を知り、残りの勉強期間に課題に取り組み、さらに高い資質を持った人になつてもう一つの企業実習の目的です。

今年7月という早い時期に実施し、課題に取り組み期間を長く出来ながら出社しました。不安や緊張に包まれながら出社した学生を受け入れて頂き、明るく元気なマナー、積極性、キビキビ行動、お客様対応力、技術・知識等が重要であるとの指導を頂きました。学生達はそれぞれが自身の課題を見つけ、また企業様からアドバイスを頂き、未達部分を実践していくという前向きさが見られるようになりました。



エンジンオイル交換作業



お客様の車を丁寧に洗車



ホンダクリオ南海 和泉店
 鈴木 達也 店長
 (ホンダ学園14期卒業生)

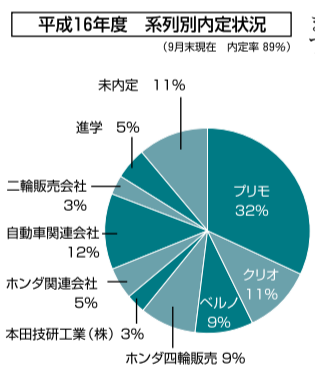
「整備士」ではなく、「サービスマン」に

今回企業実習ということでホンダ学園の学生さん6名来られました。皆さんと接し、まず感心したことが「礼儀正し」ということでした。私も身も約10年前、ホンダ学園の学生時代に実習生という形で企業を訪問しましたが、今回感じた「礼儀正しさ」は私にはなかったと思います。ホンダ学園も整備技術の勉強以外にも力を入れていくんだなと感じました。ありさまな話ですが、これからの自動車ディーラーにおいては「整備士」ではなく「サービスマン」にならなくてはならないと思います。サービスマンが自動車だけに向かって仕事をすることはサービス収益の向上にもつながります。企業というものは利益があつて初めて存在するものであり、その為にはほとんどのお客様と接する機会を増やしていかないとけないと思います。そのスタートラインに「礼儀正しく」があると思います。これから就職までの期間、整備技術など学ぶことがたくさんあり大変だと思いますが、今持っている「礼儀正しさ」をいっしょに伸ばせること、強く願っています。

就職活動状況

2年生の就職活動、ラストパート!!

今年度の就職活動もいよいよラストパートを迎えています。9月末現在で内定率が89%となり(昨年9月末の内定率は93%)残り36名の学生が内定を勝ち取る為に、日夜活動に頑張っております。世の中の景気はやや上向きであるとは言え、自動車業界はまだまだ厳しさが続いていることを痛感しております。このような厳しい状況の中、各企業様には学生の就職支援にご協力頂き大変感謝しております。



1年生就職活動スタート

いよいよ1年生の就職活動もスタートします。10月の進路説明会を皮切りに、11月の企業説明会、そして12月にはメインの賛助企業セミナーを予定しております。学生は、年々厳しくなる就職試験に勝ち抜く為に、早期から自己分析をしっかりと行い、学園生活のなかで長所を伸ばし企業様に期待される人材になれるよう取り組みをお願いします。各企業様、保護者の皆様には引き続きご支援ご協力頂きますようお願いいたします。

海外研修旅行

今年「ホースバックライディング」を追加!!

11月15日(月)～11月22日(日)にかけて今年も海外研修旅行が実施されます。

アメリカでの自動車ビジネスを学ぶ為、アメリカホンダや地元ディーラーを訪問します。他にアメリカを知ること、カート走行やバギー走行などを準備しております。今年新たに「ホースバックライディング(乗馬)」が追加されました。この「ホースバックライディング」は馬に乗りながらロサンゼルス等の街並みを見おろすのがインとなり、学生達にも非常に人気が高くなっています。2年生になつて準備するにあたり、自分達のグループ分けや選択コースの希望などいろいろ苦労しながら早くも海外研修旅行に夢を膨らませていきます。



今年新たに加わった注目の「ホースバックライディング」

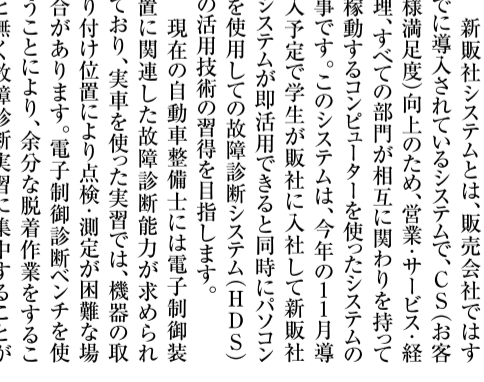
新教材導入

新販システム&電子制御診断ベンチ導入

故障探求・問診技術の習得やプロの実践力習得など、学園の目指す学生の能力向上の一環として、電子制御診断ベンチ・新販システムを導入致しました。

新販システムとは、販売会社ですべてで導入されているシステムで、CS(お客様満足度)向上のため、営業サービス・経理、すべての部門が相互に関わりを持つ稼働するコンピュータを使ったシステムの事です。このシステムは、今年の11月導入予定で学生が販社に入社して新販システムが即活用できると同時にパソコンを使用しての故障診断システム(HDS)の活用技術の習得を目指します。

現在の自動車整備士には電子制御装置に関連した故障診断能力が求められており、実車を使った実習では、機器の取り付け位置により点検・測定が困難な場合があります。電子制御診断ベンチを使用することにより、余分な脱着作業をすることが無く故障診断実習に集中することが出来るようになりました。またトランスミッションも動作することにより、エンジンのみでなくミッションの故障診断も同様に可能になりました。



新たに導入した電子制御診断ベンチ

新校舎建設状況

新校舎、骨格完成

本年、1月に新しい校舎建設を開始して9カ月が経過致しました。

9月末現在、建設は予定通り進んでおり、今後は屋内工事が主体となり、10月末には足場がとれ、外観があらわになります。12月初旬の完成を目指して日々着々と作業が進んでおります。

是非、ご期待下さいたいと思います。



骨格が出来上がってきました

退任のあいさつ

鈴木 要

私は、10月2日に定年を迎えます。昭和39年に本田技研・浜松製作所に入社以来、サービス、営業、そしてホンダ学園と多くの職場で充実した日々を送ることが出来ました。特にホンダ学園では15年という長きに渡り教育関連の仕事に従事し忘れ得ぬ多くの出会いが私の財産であり、喜びであり感謝しております。

これからは今までの体験や皆様への思い出を大切に、心豊かに有意義な人生を送りたいと思っております。あがごさようでした。

関根 忠夫

平成元年7月にホンダ学園に赴任しました。この15年間、職員の皆様には、あたたかく指導いただき、感謝いたします。特に募集活動では、ホンダ学園の良さを、自信を持って、広報活動を行って頂きました。このように感謝して行動出来たことは、皆様のお陰と、心より感謝しております。あがごさようでした。このように、すばらしい環境の中で、無事に定年を迎えられ、重ねて感謝いたします。

中根 清八

このたび、8月1日をもって本田技研工業(株)の定年退職を迎えることになりました。昭和44年鈴鹿製作所に入社以来13年8ヶ月の間、働かせて頂きました。この間に、ホンダ学園の創設・発展に貢献させて頂きました。大変な移動で戸惑いもありましたが、学園の創設・発展に成長期を共に過ごすことが出来たこと、大変光栄に思っております。学園が益々発展することを心よりお祈りいたします。期待しております。

伊藤 修一

16年もの長い間、西校にお世話になりました。その間、各々、シフト、電気、検査の各単元を経験させて頂きました。また、パソコンの導入、新教育システムの導入など新しい試みに参加させて頂いたおかげで多くのことを勉強でき、とても感謝しております。学生の皆さん、どうぞよろしくお過ごしください。仕事をしながら自分から楽しんでいくことを目指してまいります。

新任のあいさつ

7月1日付けでホンダ学園へ転勤して参りました。本日は、前職は法人営業部で、全国広域企業向けの営業を担当してまいりました。お客様の基本は「車を売る前に、まず自分を売り込む」と言われます。お客様を目的に仕事に励むことには自信をもち、これからサービスの第二歩と見ます。これから学生の皆さんは、常に「お客様を意識して行動すること」を伝えていきたいと考えています。よろしくお祈りいたします。

松浦 俊博

10月1日よりホンダ学園に赴任しました。松浦俊博です。販売店のお客様相談センターに経験をさせて頂いて、仕事を少しでも多くの方に伝えさせて頂きたいと思っております。また気持ち新たに、頑張りますので宜しくお願い致します。

燃えるガチンコ! HATS体育祭 2004 優勝 自動車整備科 2-4



クラス対抗リレー



運動するにはもってこいの天気になりました

9月28日(火)に「燃えるガチンコ! HATS体育祭2004」を行いました。...

Table showing overall ranking of classes for the sports festival.

今回は「何か新しいことを取り入れたい」という思いから集まった各クラスの代表の学生が主体となり...



体育祭実行委員長 自動車整備科 2-4 下内 圭



クラス全員力を合わせて



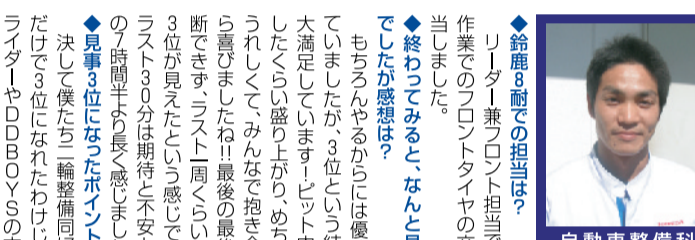
白熱した騎馬戦



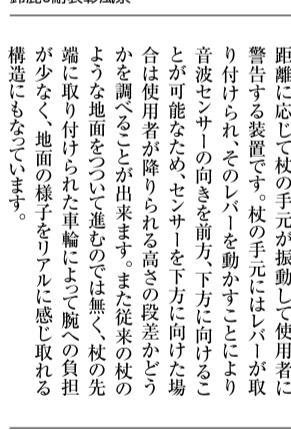
優勝した2-4

People Close Up! 「鈴鹿8耐」で見事3位表彰台という素晴らしい結果を残し、二輪整備同好会のリーダーを務めた飯室文幸君を特集しました。

「鈴鹿8耐」で見事3位表彰台という素晴らしい結果を残し、二輪整備同好会のリーダーを務めた飯室文幸君を特集しました。...

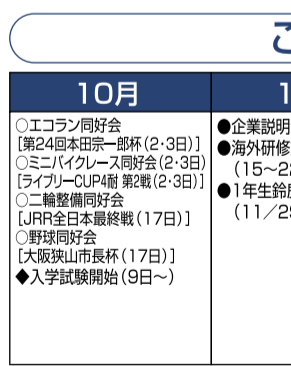


自動車整備科 2-4 飯室 文幸



鈴鹿8耐表彰風景

印象に残っていることありますか? 最初のピットインの時にスタンドが折れたこと。...



市内清掃風景

市内清掃 「街をきれいにする」 8月28日(土)に行事の市内清掃に1年生全員360名と教職員23名が参加しました...

編集後記 体育祭も終わり、いよいよ本格的に寒くなってきました。...



入り口での集合写真

これからスケジュール

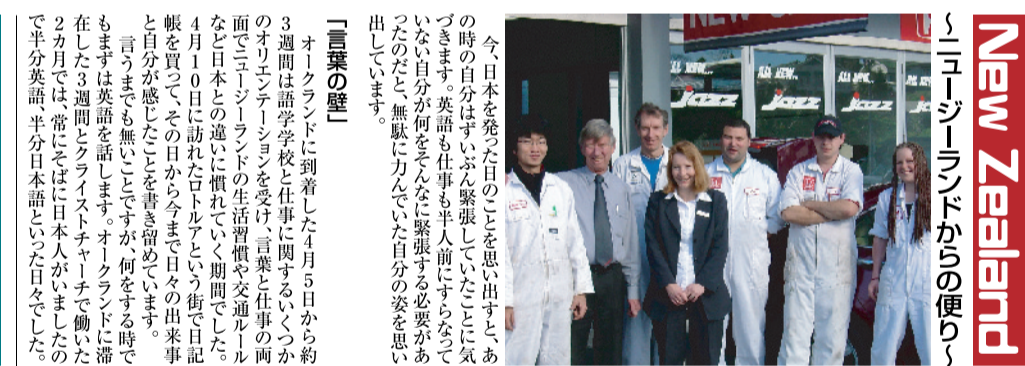
Table listing school events and activities for October, November, December, January, and February.

ミニバイクレース同好会決定

ミニバイクレース同好会は、初心者から経験者までレースに興味があるメンバーで発足しました。...



3位入賞のエコラン同好会のメンバー



ワンガレイのスタッフと(写真一番左が田中君)

「言葉の壁」 オークランドに到着した4月5日から約3週間は語学学校と仕事に関するいくつかのオリエンテーションを受け言葉と仕事の両面をニュージーランドの生活習慣や交通ルールなど日本との違いに慣れたい期間でした...

「滞り6ヶ月が過ぎて」 生活していく中で最初の頃は日々、英語、食事、文化など全てが驚きと発見の日々でした...

自動車整備科 本田 広平